

『下流老人：一億総老後崩壊の衝撃』藤田孝典（朝日新書、2015. 6）（2）「下流老人の現実」

「その論点のまとめと可視化（「札寄せツール」による図示）」（中川 徹、2015. 9. 7）

第2章 下流老人の現実

2B: 現実の背景

下流老人の事例は、「誰か知らない人」だけの問題ではない。その根拠を示す。

厚労省の「平成25年国民生活基礎調査の概況」によると、

全世帯の年間所得は、平均537万円、中央値432万円。

高齢者世帯の年間所得は、平均309万円、中央値250万円。

高齢者になると、現役のころよりも所得が激減する。

しかし、支出は思ったほど減らない。

高齢者世帯では、食費や子供の養育費は減るが、医療費、介護費等が増える。

「想定外」の事態で多額の支出が発生するリスクが増える。

高齢者世帯の平均所得の内訳は、公的年金・恩給：68.5%、稼働所得

高齢期に働いて得られる収入は、2割に満たない。

「年金で足りない分は、働いて何とかする」が成り立たない。

高齢者世帯の貯蓄は、貯蓄なしが16.8%、200万円未満まで入れると

貯蓄200万円未満は、生活上大きな支出に見舞われると、家計を維持できない水準である。

貯蓄のある高齢者と貯蓄のない高齢者に二分されている。世代内格

高齢者の生活意識：「大変苦しい」23.2%、「やや苦しい」31.1%

高齢者の貧困は進行し続けている。すでに多くの人が下流老人になり始めている。

NPOの活動は、相談者からの依頼を受けて、その場その場で最善の方法を考え、支援してきた。（対処療法、ミクロ実践）

社会問題として、根本から対策を立てる必要がある。（マクロ実践）

制度や政策、人々の意識や考えを変える必要がある。（マクロ実践）

『下流老人:一億総老後崩壊の衝撃』藤田孝典(朝日新書、2015.6) (2)「下流老人の現実」

「その論点のまとめと可視化(「札寄せツール」による図示)」(中川 徹、2015.9.7)

第2章 下流老人の現実 2B: 現実の背景

下流老人の事例は、「誰か知らない人」だけの問題ではない。その根拠を示す。

厚労省の「平成25年国民生活基礎調査の概況」によると、

全世帯の年間所得は、平均537万円、中央値432万円。

高齢者世帯の年間所得は、平均309万円、中央値250万円。

高齢者になると、現役のころよりも所得が激減する。

しかし、支出は思ったほど減らない。

高齢者世帯では、食費や子供の養育費は減るが、医療費、介護費等が増える。

「想定外」の事態で多額の支出が発生するリスクが増える。

高齢者世帯の平均所得の内訳は、公的年金・恩給:68.5%、稼働所得18.0%

高齢期に働いて得られる収入は、2割に満たない。

「年金で足りない分は、働いて何とかする」が成り立たない。

高齢者世帯の貯蓄は、貯蓄なしが16.8%、200万円未満まで入れると30.3%

貯蓄200万円未満は、生活上大きな支出に見舞われると、家計を維持できない水準である。

貯蓄のある高齢者と貯蓄のない高齢者に二分されている。世代内格差。

高齢者の生活意識:「大変苦しい」23.2%、「やや苦しい」31.1%

高齢者の貧困は進行し続けている。すでに多くの人が下流老人になり始めている。

NPOの活動は、相談者からの依頼を受けて、その場その場で最善の方法を考え、支援してきた。(対処療法、ミクロ実践)

社会問題として、根本から対策を立てる必要がある。(マクロ実践)

制度や政策、人々の意識や考えを変える必要がある。(マクロ実践)

『下流老人:一億総老後崩壊の衝撃』 藤田孝典 (朝日新書、2015. 6) (2) 「下流老人の現実」
「その論点のまとめと可視化 (「札寄せツール」による図示)」 (中川 徹、2015. 9. 7)

第2章 下流老人の現実 2B: 現実の背景

下流老人の事例は、「誰か知らない人」だけの問題ではない。
その根拠を示す。

